



reporter
NIWA

【アメリカ情報】

成長を遂げる人気アウトドアショップ

業界1位のスポーツ専門店も苦戦する中、順調に売り上げ推移をのばしているこのお店。中に入るとまず視界に飛び込むのがドデカイ岩のオブジェ…ではなく実際にロッククライミング教室を展開している実技用絶壁。ものすごい大きさとそれだけでも迫力なのですが実を伴ってるからなおすごい。

日本でもこの同等規模のアウトドアショップは無くもないですがこの店のように本格的ロッククライミング教室やゴルフ・テニスなど実際プロで活躍しているようなインストラクターが常時在中・指導している店は少ないのではないのでしょうか。その徹底ぶりでの店は人気を博しています。

驚いたのがアパレルのVMDが非常に、しっかりしていることです。使っているディスプレイツールや媒体のクオリティー・陳列手法など、細やかな表現で展開されています。

この規模のオールアイテム型のショップは、どこにVMDの重きを置くかで当然ながら売り上げ構成のコントロールをしているのですが、そんな中での「アパレル」も重要な売り上げをになってきているんだらうな…と思わせるほどのものがありました。

白&黒カラーのみを取り扱うコンセプトShop

店名通り白服専門店から始まり、顧客の要望によって黒服も取り扱うようになったこのショップは、店内に入ると左手に黒服、右手に白服が置かれています。白か黒の服が欲しい場合は、ここに来れば必ず何かしら見つかるはずですよ。

MDコンセプトと同様に、ショップの外装から内装まで白と黒がベースになっています。ニューヨークは世界で何が流行っているかが、とにかく黒を着ている人が多いんです。特にマンハッタンでは上から下まで黒づくめという人があっちにもこっちにも。

ブラックは、細く見える、無難、コーディネートしやすい、汚れが目立たないなど多くのメリットから、一般的に人気のある色ではありますが、やはり都会的でクールに見えるというのが一番の理由なのでしょう。

特にアメリカでは洗濯時に乾燥機を使用するので、すぐにグレーっぽくなってしまいます。イギリスの〇〇会社では、黒い衣服専用の洗濯洗剤をつくっており、これを使うとカラーがよみがえるという噂があるようです。残念ながらアメリカでは売られていないので、本当に効果があるのであれば、NYではヒット間違いないでしょう…！



reporter
OGAWA

【ロハスな休日 I】

金沢21世紀美術館

最近話題の『妹島和代+西沢立衛』SANNA設計の美術館で、円形の外観に柱の無いガラス張りの空間は、女性ならではの感性を、感じました。

この美術館では、最先端の現代アートの空間表現が盛りだくさんにあります。

プールの中に人影？ 中には一体何が？ 上から覗き込むだけではなく、プールの中に入って見上げると水面を揺らめく光が何とも不思議で、心地良い空間になっています。

また、今注目されている空間アーティストの『ジェームス・タレル』の作品が、無料で楽しむこともできます。

この作品は、天井に穴が開いていて空をキャンバスに見立て、表情の違う四季の空を、まるで切り取ったようにして感じることが出来ます。

3年ほど前、香川県で行われた直島家プロジェクトの『南事』を見たのがタレル作品との最初の出会いで、この時は安藤忠雄さんとコラボっていて知覚心理に訴える空間が、体験できました。

最近では05年秋に、パリのルイヴィトンの内装壁面でも表現し活躍の場を広げています。



reporter
Kobayashi

【ロハスな休日 II】

動く石（意思）

南禅寺の開祖である大明国師は、幼少の頃熱病にかかって山中に捨てられた。その時、狼に襲われ危機一髪のなか、犬に守られたという故事に基づき表現された石庭が、東福寺の龍吟庵にあります。

左の3個の石がまさに襲いかかろうとする狼で、右端の石が、それに対峙している犬ということらしい。

なるほど、動いて見える！
チョットやそっとでは動かない石だからこそ動いて見える、、、

「押しても駄目なら引いてみな」というささやきと共に動かないものを、心で動かす技を観た。



reporter
Iwai